公益財団法人 財務会計基準機構会員

2026年11月10日

各　位

会 社 名　　J　T　P　株　式　会　社
代表者名　　代 表 取 締 役 社 長　　為田　光昭
（ 証 券 コ ー ド ： ２４８８）
問合せ先　　常務取締役コーポレート本部長　　伊達　仁
（ 電 話　０３－６４０８－２４８８）

2027年３月期 第２四半期（中間期）業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

2026年5月11日に公表いたしました、2027年3月期第2四半期(中間期)業績予想数値と、本日公表の実績数値との間に差異が生じましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

１．2027年3月期第2四半期(中間期)業績予想数値と実績値の差異
（2026年4月1日～2026年9月30日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	中間純利益	１株当たり中間純利益(円)
前回発表予想（A）	5,000	347	347	232	41.36
実 績 値（B）	5,119	504	515	343	62.76
差 額（B-A）	119	157	168	110	－
差 額 率（%）	2.4	45.3	48.5	47.7	－
(参考)前期第2四半期実績 2026年3月期第2四半期	4,939	436	443	298	52.43

２．差異の理由

売上高は、前回予想と比べ2.4%増収の5,119百万円となりました。増収の要因としては、デジタルイノベーションセグメントの生成AI関連サービス及び内部脅威対策を中心とするセキュリティサービスが伸長したほか、新入社員向けIT研修、試験配信サービス及び主要顧客向けアプリケーション開発が拡大したことによります。

利益面では、利益が前回予想と比べ45.3%増益の504百万円となり、経常利益が前回予想と比べ48.5%増益の515百万円となりました。また中間純利益は47.7%増益の343百万円となりました。増益の要因としては、上記増収要因によります。

なお通期の状況につきましては、事業環境の急激な変化の影響を勘案し、通期業績予想については据え置きとさせていただきます。但し業績に与える影響が判明した際には速やかに情報を開示させていただきます。

※業績予想等の将来に関する記述につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断したものであります。予想には様々な不確定要素が内在しており、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合があります。

以上